

平成29年度 自己評価

学園の教育目標

キリスト教、カトリックの教えに基づき、祈りを通して感謝する心、互いに愛する心、尊敬し合う心を育て、一人ひとりを大切にする宗教教育。

- キリスト教精神に基づいた心豊かな、愛に満ちた、たくましい子どもの育成。

かけがえのない人格を持った子どもたちが、整えられた環境の中で、自分の能力、興味や関心によって、作業を選択し、自分のペースで活動することで達成感を味わい、自己形成ができるモンテッソーリ教育。

- 子どもの自発的活動を通して自立をめざす。
- 3・4・5歳児の縦割りクラス編成により、「助けあったり、教えあったり、ゆずりあったり」の体験を通して、社会性を育てる。

本年度の重点目標・計画

教育内容に関して

- ◆ 自立し、安心して過ごす中で、友だちとのかかわりを通して、思いやりの心を育む。
- ◆ モンテッソーリ教育の充実
- ◆ 宗教教育の充実
- ◆ 2歳児保育の充実
- ◆ 預かり保育の充実
- ◆ 保護者とのつながりを深める。

施設関係整備

- ◆ 認定子ども園移行に向けての改修工事
 - ・ 厨房改修工事
 - ・ 3号認定（2歳児）保育室改修工事
 - ・ 2号認定（3・4・5歳児）、1号認定（3・4・5歳児）
預かり保育室改修工事
 - ・ 屋上改修工事

評価項目の達成及び取り組み

	評価項目	取り組み内容	保護者・アンケート結果	教師・自己評価	理由	評価 (A～D)
1	教育方針・目標	・教育方針・目標は、園の特色を生かしたものとなっているか。	保護者		子どもたちが主となり生活し、その時期、その個人に応じた自分らしさ、良いところを伸ばすよう配慮されていた。 幼児が、伸び伸びと生活する中にも、教育的意図が生かされている。	A
			教師		カトリック精神による宗教教育が本園の最も重要な教育方針であり、本園を選び、入園させてくださる保護者のみなさんからは、おおむね、理解いただいている結果が表われていると思われる。今後もこの方針を間違えることのないように、教職員一同、肝に命じて、日々の保育活動に従事していきたい。 また、「毎月のおたより」「学期の行事予定」等によって本園の保育の取り組みをわかりやすく、なおかつ詳しくお伝えしていきたい。	A
2	情報の発信と受信	・保育者との対話、連絡などコミュニケーションを図り、問題が生じたときはクラスに関係なく全職員で対応するなど安心して預けられる環境をつくっているか。 ・保護者への連絡、保護者からの伝達などミスや遅れがないよう確実に、提出物の処理、事務処理をスムーズに行う。	保護者		担任以外の教師から声をかけられたり、対応してもらって安心できた。	A
			教師		日々の子どもの様子は連絡帳を通して、又、学期ごとの懇談会や「ホームルームだより」等によって、担任は保護者と密接に連絡を取り合っている姿が一定、評価されていると思われる。今後も保護者のあらゆる願いに応えられるよう、努力していきたい。	A
3	指導計画の作成と評価	・個々の行事について、幼児の発達を考えながら実施し、子どもの実態やねらい等について教職員と話し合い、見直しを行っているか。 ・業務がより効率的にできるよう係活動行事、環境構成など余裕を持って計画し、能率よく機敏に作業を進めることができているか。	保護者		行事など、連携が図られ、スムーズな進行ができていた。	A
			教師		常に子ども視点で一つひとつの行事を考え、取り組んだことにより、子ども、保護者、教師ともに満足のいくものとなった。	A

4	教職員同士の協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教師間の連携を十分に図り、保育の在り方を考え、教材研究、実践研究、新任教員への指導などに努めているか。 ・幼児のことについて常に教師間で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有しているか。 	<p>保護者 教師間の連携はよく図られていた。</p> <p>教師 毎日の振り返りや、ミーティング、園内研修等で、格差のない保育を心掛けていきたい。</p>	<p>B</p> <p>B</p>
5	教育環境の構成 幼児のみとりと理解	<ul style="list-style-type: none"> ・全教師が即座に生かせる感性、保育技術を高め、子どもたちが楽しく生活したり、学んだり、育ちあったりできるあたたかい環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか。 ・幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか。 	<p>保護者 3・4・5歳児の縦割りクラス編成により、助けあったり、教えあったり、育ちあう姿が見られた。</p> <p>教師 「あてはまる」が112名あり、保護者のみなさんからは一定、信頼されているように受け取られる。保育者はどのような場合にも子どもと向き合うときは、1対1の関係を保つように努力をすべきであり、これを常に心に留め、日々の保育に努めたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p>
6	地域との連携 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携交流、園外の施設との交流などにより、人の温かさや、心配り、大きくなることの意味を感じる活動に取り組めていたか。 * 預かり保育 ・本園の教育方針に従った保育を行っているながらも、縦割り保育のよさを生かし、家庭的な雰囲気づくりに努めることができているか。 ・手作りおやつを増やし、楽しいおやつを持てているか。 	<p>保護者 園外に出かけることにより、いろいろな立場の人と出会い、社会ができていくこと学べる機会を増やしてほしい。</p> <p>教師 私立幼稚園としての本園の在り方は、広範囲の地域から通園する保護者にとっては、見えにくくなっているものと思われる。カトリック教会所属の幼稚園としての存在価値を今後も高めるよう努力していきたい。</p> <p>今年度は、地域の奈良市女性防災クラブの方が来園し、紙芝居を通して指導をいただいた。このような地域とのかかわりを増やしていきたい。</p>	<p>C</p> <p>B</p>
7	安全への配慮 安全管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、自然災害に対する訓練、安全指導などを繰り返し行い、とっさの判断で教師と子どもが連携して身を守るようにしていく。 ・緊急時の対応手順について、全教職員が共通の理解を持てるよう取り組んでいるか。 	<p>保護者 いろいろな想定で訓練していることを、家庭でも話題にしている。</p> <p>教師 今後も緊急時のマニュアルについて、保護者にその徹底をはかり、子どもの安全確保に更に努めていきたい。</p>	<p>B</p> <p>B</p>

8	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や、言葉かけが十分にできているか。 ・遊具などの安全点検を行えているか。 ・園内外、常に美化に心がけることができているか。 	<p>保護者 子どもたちの遊び場である園庭の遊具が一新され、安全な環境の中で遊べることを喜んでいる。</p> <p>教師 これからも施設内の点検に従事して、逐次その改善に努めていきたい。</p> <p>美化については、ほぼ全員の方が「あてはまる」と回答いただいた。これは、日頃の保護者ボランティアグループのみなさんのお世話のおかげが大きいと認識している。幼稚園は子どもたちに「安心・安全・安定」を提供する環境でありたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p>
---	------	---	--	-------------------

教育内容に関して

- * モンテッソーリ教育法を学び合う園内研修を月2回実施したことにより、積極的に教師相互の学び合いがなされるようになった。それにより、保育の質が高まった。
 - * モンテッソーリ教育の体育指導法を教員が積極的に学ぶことで、子どもの基礎体力が向上してきた。
 - * 理事長先生の学期ごとの聖書の解説により、保護者の方がカトリック精神に触れ、カトリックに対する理解を深めることができた。
 - * 未就園児2歳児クラスでは、週1回、週2回、週3回コースを設置することで、子どもが充実した園生活を過ごすことができ、満3歳児入園につながっている。
 - * 預かり保育では、日数、時間等を増やしたことで、参加人数が大幅に増えた。
- また、「働いていても幼稚園に」という保護者が増えつつあり、園児数増加につながってきている。

総合的な評価結果

2018年5月19日（土）に開催された評議会でおおむね達成と評価された。

今後取り組むべき課題

教育内容に関して

- * カトリック教育、モンテッソーリ教育、縦割り保育の三本を軸とする保育の充実
- * 教諭のキャリアアップを図り、保育の質の向上
- * モンテッソーリ教育の園内研修の充実
- * 子どもの生活、自主選択活動の充実
- * 2歳児クラスの充実 保育時間を段階的に延ばす
- * 地域との連携 地域に密着した保育
- * 園庭遊具の点検と見直し 現在の安全基準に沿って